

(略) 初代会長の松平氏の後を受けてPTA会長を引き受けてはみたものの、昭和24、25年頃というところ、ご承知のようにない尽くしの世の中で、新学校教育が要望するいろんなものを満たせるかどうか不安でもありました。

いったい何が足りないのかを考えていくと、あれもこれも欲しいものばかりになるわけで、これでは切りがない、我々の手のできることはないものかと考えたのがグラウンドづくりであったわけです。生徒の要望もそれであったところから、さっそく役員会に諮って実際に移りました。

リヤカー、スコップ、それに馬、これだけをずっと手配して、後は人海戦術みたいなもので、いわば奉仕作業一本でつくり上げる算段をしたものです。

さて、作業に入ってから苦勞たるや実にひどいものがありました。一応私が総責任者の立場を取り、工事責任者に副会長であった池知氏を、馬を使つての責任者に山内氏を、土をならしていく責任者は故前田氏にと、確かそんな段取りで(万一、名前が違っていたり、私の記憶違いがあった時はご容赦ください) 仕事にかかったわけです。

校下父兄の方々は、1人4、5日にも及ぶ半ば強制的な奉仕作業にも嫌な顔ひとつしないで出てきていただいたことは、実に涙の出るほど嬉しいことでありました。

特にご婦人の方々は、慣れない手にスコップを握り、血豆を出し、全身汗みどろになって、モンペにタカジョウ履きの姿は、今でもありありと目に浮かぶようです。

生徒の苦勞もまた大変なものがあつたようです。ほとんど毎日グラウンドに刈り出され、先生方もそれぞれ真っ黒になって取り組んだものでした。

今、立派に完成しているグラウンドの姿を見る時、ただあの当時のことを思い出して感無量のものがあります。

ちょうど25年の11月だったと思います。常呂が村から町に昇格したのを祝つて旗行列を行いました。

私なども生徒の先頭に立つて、発展する常呂町の姿を頭いっぱい浮かべながら「万歳、万歳」と叫んで歩いたものでした。(略)

*注:「常呂中学校二十年のあゆみ」年表から

昭和25年4月10日	常呂中学校生徒会設立
5月19日	グラウンド完成
7月18日	常呂港起工式、全生徒旗行列に参加
8月13日	第1方面中学校排球大会に初参加
9月23日	第1方面中学校陸上競技大会本校で開催
9月30日	普通教室1教室増築落成
11月1日	町制施行により常呂町立常呂中学校と名称改称
11月20日	町制施行祝賀旗行列に参加
11月25日	校舎敷地東側に校長住宅新築落成

*注：常呂中学校開校時の教諭／瀬越春男が同記念誌に「開校から3年間」という文で、グラウンド造成のことを書いてある部分を紹介

(略) 昭和25年、中学校には珍しい1周³⁰⁰メートルのトラック・スタンドを持つグラウンドが校下父兄のスcoop、鍬を手にしての汗の奉仕で完成したが、市街地の方々はもちろん、土佐部落総出勤で馬車での土運搬、馬でのローラーがけなど、今日の機械力ならともかく、当時としては大工事であったことも忘れられないものがある。(略)

*注：常呂中学校グラウンド造成時の教諭／丸田実が同記念誌に「常中懐古漫録」という文で、グラウンド造成のことを書いてある部分を紹介

(略) 新校舎の落成と同時にグラウンド整備作業は、当時の生徒、職員一同にとって忘れがたい1ページである。一面の畑地、おとなの背をも隠す大きな窪地、レベルを使って糸張り、土佐の人々は馬を持って出役、市街の人たちはスcoopを持って作業、生徒も裸になって土手造り、校下生徒・職員一丸となってグラウンド造り、見事なグラウンドができあがった時の汗の中に光る喜びの顔。(略)